

■シラバス

授業の目標 Course Objectives

- (1) 文献講読により、経営学の基礎知識を学ぶ。
- (2) 個人あるいはグループでの報告を通じて、プレゼンテーションの方法を身につける。
- (3) 報告のポイントをつかみ、ディスカッションに参加する積極的な姿勢を身につける。
- (4) 卒業論文の作成により、文章表現力を高める。

到達目標 Course Goals

- (1) 経営学分野の文献を幅広く読み、経営学の知識や考え方を身につけるとともに、それらがどのように関連しているのかを理解できるようになる。
- (2) 文献を読むあるいは報告をする際に、その内容を具体的な企業の事例などで考えて理解し、説明できるようになる。

授業計画 Course Schedule

- (1) 経営学分野（経営管理論・組織論・経営戦略論・国際経営論・マーケティングなど）の文献を幅広く講読し、全員が報告の準備をする。
- (2) 3年生の後期から卒業論文作成の準備を始め、ゼミで定期的に経過報告し、4年生の冬休みまでに完成させる。

成績評価の基準と方法 Grading System

出席、報告の準備、ディスカッションへの貢献度、卒業論文への取り組みなどを総合的に評価する。

■授業の取組・工夫等について

1. 目標

本演習の目標は、次の4点である。第1に、文献講読により経営学の基礎知識を学ぶこと。第2に、報告者として、要点を整理し説得的なプレゼンテーションを行うこと。第3に、報告された内容のポイントをつかみ、ディスカッションに参加する積極的な姿勢を身につけること。第4に、上記の項目の集大成である卒業論文を作成する過程で、文章表現力を高めることである。

2. 内容

本演習の内容は、大きく2つに分けられる。1つは経営学の文献講読である。講読文献の選定に際し、まず経営学のどの分野から文献を選ぶのかを全員で話し合う。分野を決定するにあたり、学生がゼミに所属する2年間で、経営学の主要な分野を広く学べるように留意している。複数分野の文献を読むことで、それらの分野がどのように関連しているのかを、体系的に学ぶことが重要だと考えるからである。分野が決まったら、教員が選んだ数冊の候補文献を学生に回覧させ、全員の協議で講読文献を決定する。

もう1つは、企業のケースを題材にしたディスカッションである。文献講読や講義等で学んだ知識が深められそうなケースを掲載している雑誌等を教員が紹介し、ケースの選定は学生に行わせる。ここで学んだ企業の事例は、文献講読でのディスカッションをより具体的なものにしてくれ、さらには卒業論文のテーマ選びにもつながっている。

文献講読とケースディスカッションに加えて、年2回、テーマ選びから資料収集やプレゼンテーションの方法までを、学生が話し合って決めるグループワークを実施している。まず、学生が各自興味のあるテーマを持ち寄り、それらのテーマが2つあるいは3つのグループに分けて議論を展開できるか否か、関連する資料を集められるかなどを検討し、合議の上でテーマを決定する。テーマ決定後、学生は、一方で全員が共有する資料収集を行い、他方でグループ内での役割分担を決めて資料収集を行う。発表会までに、グループ内およびグループ間ですり合わせを行う。発表会では、パワーポイントを用いて各グループのプレゼンテーションおよび質疑応答を行った後で、全体を通してディスカッションを行

っている。

さらに、4年生の卒業論文中間報告も、年に複数回行う。4年生にとっては、同級生や3年生からの意見や質問が論文の完成度を高めることにつながり、3年生にとっては、翌年の卒業論文作成の参考になる。

3. 工夫

本演習では、報告者を事前に決めないというルールを設定している。報告者を事前に決めると、報告者以外の学生の事前準備が疎かになる傾向があるからである。また、学生が病気や就職活動等で欠席することがあっても、報告者を当日決めることで、ゼミ運営に支障をきたすこともない。学生は全員、報告者の役割を果たせるだけの事前準備（レジュメ作成も含む）をし、演習の開始時に、ジャンケンやくじで報告者を決定する。ただし、各学期で学生の報告回数がほぼ均等になるように、調整をはかっている。

報告者に加えて、文献講読およびケースディスカッションの司会も、学生が行うようにしている。教員が司会者の役割を果たすと、学生が教員に対して発言するハブアンドスポークの状況に陥るからである。司会者も、報告者と同じ方法で、演習の開始時に決定する。学生に司会を任せてから、学生間のディスカッションは、以前よりも活発になった。

年に2回実施するグループワークでは、学年のバランスやメンバーの顔ぶれが重ならないように配慮し、ゼミ生同士のコミュニケーションの促進に努めている。

演習を通じて、自ら考え行動する自主性や、自分とは異なる意見を受け入れながら議論する力を高めることを目指している。

■学生の自由意見（良かったと思う点）

- ・ 経営学の内容だけでなく、考える力、発言力、論理構成さらには人間力も養える。基本的に6行ではおさまります。
- ・ 学生同士が刺激し合える環境が整っていた。
- ・ 少人数で学ぶことにより、深い交流をもち、また学ぶことができました。
- ・ 輪読やディスカッションを通し、自分の力を上げることができました。
- ・ 先生が一番頑張っているところ。
- ・ 普通、言葉にはなりません。
- ・ 濃い時間を送ることができた。